

## 令和2年度事業計画

### 1 方針

本協会は、和歌山市から指定管理者として指定を受け、夜間、休日等の医療が充実しにくい日時において安定的な1次救急医療を提供するため、和歌山市夜間・休日応急診療センター（以下「センター」といいます。）の管理業務を適切に実施することを方針としています。

### 2 診療業務

#### (1) 診療方針

センターは、急病患者に対して応急的な診療を行う診療所で、高度な医療や入院設備はなく、検査はレントゲン設備もなくインフルエンザ以外できません。そのため、薬も原則として1日分の処方です。翌日又は休み明けには、かかりつけ医などの受診を勧めています。

#### (2) 診療場所

和歌山市夜間・休日応急診療センター  
和歌山市吹上5丁目2番15号  
開設者：和歌山市長 管理者：永井尚子

#### (3) 診療時間及び診療科目

##### ア 夜間診療（通年〔365日〕）

###### (ア) 診療科目

内科・小児科・耳鼻咽喉科

###### (イ) 診療時間（平日）

内科・耳鼻咽喉科 午後8時～午前0時

小児科 午後8時～翌日午前6時

###### (ウ) 診療時間（土曜・日曜・祝日・年末年始12/29～1/3）

内科・小児科 午後7時～翌日午前6時

耳鼻咽喉科 午後7時～午前0時

※1 年末年始のみ耳鼻科も翌日午前6時まで診療します。

※2 盆は上記通常の診療時間です。

##### イ 昼間診療（日曜、祝日、年末年始、盆は歯科のみ）

###### (ア) 診療科目

内科・小児科・耳鼻咽喉科・歯科

###### (イ) 医科診療時間（日曜・祝日・年末年始12/30～1/3）

内科・小児科 午前10時～正午・午後1時～午後5時

耳鼻咽喉科 午後1時～午後5時

###### (ウ) 歯科診療時間（日曜・祝日・盆8/13～8/15・年末年始12/29～1/4）

歯科 午前10時～正午・午後1時～午後3時

#### (4) 診療体制

##### ア 夜間診療

医師：3名（平日：内科1名・小児科1名・耳鼻咽喉科1名で計3名）  
4名（土日祝日：小児科が2診体制（準夜1名、終夜1名）となるため、  
2診体制の準夜勤務は、午後7時から午後11時まで）  
薬剤師：2名（平日は準夜、終夜各1名、土日祝日は2人終夜勤務）  
看護師：4名（平日1名準夜勤務、土日祝日は5名で、内2名は準夜勤務）  
受付事務員：2名（平日、土日祝日は4名で内、2名は準夜勤務）

##### イ 昼間診療

医師：3名（内科1名・小児科1名・耳鼻咽喉科1名）  
薬剤師：2名  
看護師：4名（1名午後から）  
受付事務員：4名（1名午後から）  
歯科医師1名、歯科衛生士1名、歯科受付事務員1名

##### ウ ゴールデンウィーク（5/3～5/6、以下「GW」といいます。）

昼間診療、夜間診療とも増員せず1診体制とします。診療時間等は日曜、祝日と同じです。

##### エ 盆（8/13～8/15）

医科については昼間診療や増員は行わず、平日と同様夜間診療のみ実施します。歯科は昼間通常の時間で診療を実施します。

##### オ 年末年始診療（医科：12/30～1/3、歯科：12/29～1/4）

内科、小児科昼間診療、夜間診療とも2診体制とします。

##### （ア）夜間診療

医師：5名（内科、小児科各2名（準夜、終夜）、耳鼻咽喉科1名）  
薬剤師：4名（準夜2名含む）  
看護師：8名（準夜2名含む）  
受付事務員：6名（準夜2名含む）

##### （イ）昼間診療

医師：5名（内科、小児科各2名、耳鼻咽喉科1名）  
薬剤師：4名  
看護師：8名（午後から2名含む）  
受付事務員：6名  
歯科医師：1～3名（29日2名、30、31日3名、1、2、3日2名、  
4日1名）  
歯科衛生士：1～3名（医師と同数）  
歯科受付事務員1～2名（医師が2、3名るとき2名勤務）

##### カ 繁忙期体制

年末年始に続くインフルエンザの流行に対処するため、令和3年1月10日（日）から同年1月31日（日）までの日曜、祝日5日間の昼間診療を内科、小児科で2診とする繁忙期体制を実施します。

(5) 患者数見込（過去5年間の平均値から推計しています。（ ）内は昨年度の患者数見込）

ア 夜間診療	内科	5,490人	(5,200人)
	小児科	12,840人	(13,100人)
	耳鼻咽喉科	2,850人	(2,800人)
イ 昼間診療	内科	2,520人	(2,200人)
	小児科	4,340人	(4,400人)
	耳鼻咽喉科	1,210人	(1,200人)
	歯科	540人	(450人)
<b>合計</b>		<b>29,790人</b>	<b>(29,350人)</b>

### 3 施設等の維持・管理業務

施設等の経年劣化による原則的に小規模な修理・修繕を行う。

#### (1) 施設等の概要

構造 鉄筋コンクリート造1階建地下1階（和歌山市保健所〔鉄筋コンクリート造3階建地下1階〕に併設）

延床面積 1,338㎡（保健所延床面積6,580㎡）

施設内容 事務室、診察室、処置室、薬局、待合室、観察室等

#### (2) 更新機材

経年劣化している耳鼻咽喉科用ファイバースコープを予算額380万6,000円（税込み）で更新予定にしています。

主な内容は、アフターフォローが終了しているスコープを約15年の耐用年数がある最新式に更新します。また、従来医師だけが見ることのできた患部を医師、患者、看護師等で共有できるモニター式になります。さらに、メモリースティックなどで記録ができるため2次転送の資料提供が容易になります。

### 4 予算の概要（別添の令和2（2020）年度収支予算書参照）

令和2年度の予算の特徴は、運営管理費の縮減に努めながら、受診者の利便性向上のため必要な機材の更新を進めます。

予算支出合計は、3億4,696万9,000円で前年比629万3,000円増加しています。増額の主なものは、耳鼻咽喉科のファイバースコープ更新による「備品購入費」、人事院勧告などベースアップによる「給料」、「扶養手当」、「社会保険料」など、再雇用非常勤職員が日々雇用職員に移行するための「賃金」、消費増税分を積み増した「医薬材料費」、医科のレセプト使用料が有料になった「支払手数料」などです。

減額の主なものは、「非常勤報酬」でこれは、前年度のGWが9連休で医師等増員したものが今年度は4連休のため減額、「退職給付費用」はベテラン職員が退職したことにより負担が減少したもの、「業務委託料」の減額は、移動式の酸素、吸引器で代替可能なため医療用ガス設備の使用を休止したことによる点検費の減額です。

一方、収入合計は3億4,696万9,000円で、内訳は診療報酬予測2億6,000万円、診療報酬査定減、雑収益、応急診療センター受取交付金8,696万9,000円（前年比629万3,000円増額）です。

5 令和2年度取り組み

受付事務員のリーダー制創設など職員配置の効率化、事務能力の向上等による受診者の利便性向上（診療時間短縮等）が図れるように取り組んでいきます。